

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

事業名	一般国道7号 <small>あさひあつみ</small> 朝日温海道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局 北陸地方整備局
起終点	自：新潟県村上市川端 <small>むらかみかわぼた</small> 至：山形県鶴岡市大岩川 <small>つるおかおおいわがわ</small>	延長	40.8km		
事業概要 <small>あさひあつみ</small> 一般国道7号朝日温海道路は、災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保、救急医療施設への搬送時間の短縮、安定的な物流ルートの確保に資する道路ネットワークの強化などを目的とした延長40.8kmの自動車専用道路整備事業である。					
H25年度事業化	H24年度都市計画決定	H27年度用地着手	H28年度工事着手		
全体事業費	約1,900億円	事業進捗率	8%	供用済延長	—km
計画交通量	9,500～12,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C <small>(事業全体)</small>	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small>		総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small>	
	1.4	1,514/1,653億円 <small>(事業費:1,351/1,490億円) 維持管理費:163/163億円</small>		2,257/2,257億円 <small>(走行時間短縮便益:1,562/1,562億円) 走行経費減少便益:543/543億円 交通事故減少便益:152/152億円</small>	
感度分析の結果 <small>(事業全体)</small> 交通量 : B/C= 1.1～1.5 (交通量±10%) <small>(残事業)</small> 交通量 : B/C= 1.3～1.6 (交通量±10%) 事業費 : B/C= 1.3～1.5 (事業費±10%) 事業費 : B/C= 1.4～1.6 (事業費±10%) 事業期間 : B/C= 1.3～1.5 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C= 1.4～1.6 (事業期間±20%)					
事業の効果等 定性的な効果 <ol style="list-style-type: none"> ①災害時における広域的な緊急物資輸送のリダンダンシーの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海側の国土軸の形成が促進され、首都直下地震や南海トラフ地震の災害時にも、太平洋側への支援など「災害に強い多軸型国土づくり」に寄与することが期待される。 ②安全な道路ネットワークの提供 <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や災害による道路ネットワークの寸断リスク低減が期待される。 ③救急医療施設への搬送時間の短縮 <ul style="list-style-type: none"> ・第三次医療施設到達の60分圏域が拡大するなど、迅速な救急医療患者の搬送に貢献する。 ④安定的な物流ルートの確保に資する道路ネットワークの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・道路ネットワークが強化され、安定的な物流ルートの確保や所要時間の短縮などの効果が期待される。 ⑤観光振興の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・観光入込客数の増加や観光周遊ルートの拡大など、広域的な観光振興の支援が期待される。 ⑥地域産業の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・日本海沿岸東北自動車道の整備を見越して村上市工業団地に航空機内装品製造の世界トップメーカーが進出し、道路ネットワークを活かした事業の効率化により、事業規模を順次拡大している。 ・新潟県では地域資源のブランド化を進めており、地域ブランドである「ヤナギガレイ」や「越後杉ブランド」の輸送時間の短縮や輸送コストの削減、流通量の拡大が期待されている。 					

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等

新潟県・山形県や日本海沿岸東北自動車道建設促進 新潟・山形県境地区期成同盟会等から整備促進の要望を受けている。

知事の意見(新潟県)

県民の命と暮らしを守り、豊かな新潟県を創るため、全ての事業の継続を望みます。

知事の意見(山形県)

日本海沿岸東北自動車道は、格子状骨格道路ネットワークを形成する重要な路線であります。本路線は、災害時の広域的代替機能の強化や救急医療への対応はもとより、産業、経済、観光の振興を図るためにも極めて重要で必要不可欠であります。また、本県では、「やまがた創生総合戦略」や「山形県道路中期計画」において“高速道路・地域高規格道路の整備”の重要性について盛り込んでおり、政府においても、本区間の早期完成を目指すとともに、供用目標を明らかにし、着実な予算の確保をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、再評価及び対応方針(原案)のとおり事業継続することが妥当。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

新規事業採択時評価以降、大きな社会経済情勢などの変化はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

事業の進捗状況：用地進捗率34%、事業進捗率8% (平成29年度末予定)

残事業の内容：用地取得、埋蔵文化財調査、道路設計、改良工事

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

用地取得、埋蔵文化財調査、道路設計、改良工事を推進し、早期完成2車線供用を目指して整備を進める。

施設の構造や工法の変更等

・建設発生土の有効活用や新技術の積極的な活用等により、コスト縮減を図る。

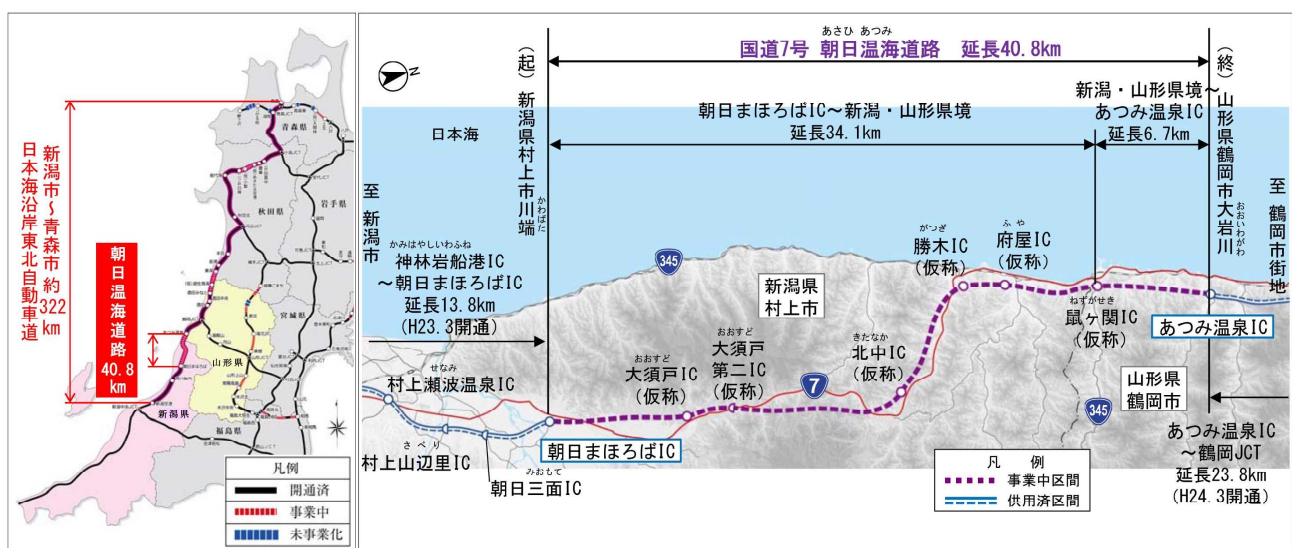
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

当該事業は、現時点においても、その必要性、重要性は変わっておらず、事業進捗の見込みからも、引き続き事業を継続することが妥当であると考えます。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。